



殺菌剤

インダー™フロアブル

園芸用殺菌剤 (Indar™ SC)

農林水産省登録
第20616号



種類名／フェンブコナゾール水和剤
有効成分の種類及び含有量／フェンブコナゾール (PRTR1種) ……22.0%
その他の成分の種類及び含有量／水、界面活性剤 等 ……78.0%
物理的・化学的性状／類白色水和性粘稠懸濁液体
毒劇法／該当なし
消防法／該当なし
有効年限／5年

包装／100mL×10本×6 ダンボール箱

TM：デュボン、ダウ・アグロサイエンスもしくはパイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標

特長

- フェンブコナゾールは、菌類の細胞膜を構成するエルゴステロール生合成を阻害し、殺菌効果を発揮します。
(EBI剤、またはその作用機作からDMI剤に分類されます)
- フェンブコナゾールは、植物体に浸達後散布部位にとどまるため、優れた耐雨性と残効性を発揮します。
- フェンブコナゾールは、米国・EU・台湾・香港の「茶」における残留農薬基準値（インポートトレランス）が設定されています。
- 予防効果に加え治療効果が高く、感染初期の散布でも、菌糸の伸長を阻害し、病斑の進展を防ぎます。
- 幅広い病害に有効で、茶・落葉果樹の重要病害に安定した効果を示し、残効性にも優れています。
- 低濃度で使用でき、薬液による作物への汚れがほとんどありません。
- 人畜に対する毒性は低く、ミツバチなどの有用昆虫、また花粉の発芽に対する影響はほとんどありません。
- 同じ有効成分を含む製品に、畑作用殺菌剤デビュー™乳剤があります。

適用病害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤及び フェンブコナゾールを 含む農薬の総使用回数	使用 方法	
りんご	赤星病	8000~12000	200~700 ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布	
	黒星病 うどんこ病	5000~12000					
	モニリア病	5000					
	褐斑病 黒点病 すす点病 すす斑病	10000					
なし	赤星病	8000~12000		収穫7日前まで			2回以内
	黒星病	5000~12000					
	うどんこ病	5000~10000					
	輪紋病	5000					
かき	炭疽病 うどんこ病 落葉病			2回以内			
	黒星病 灰星病						4回以内
もも	黒星病 灰星病		2回以内				
おうとう	灰星病 幼果菌核病	4回以内	収穫前日まで				
ネクタリン	黒星病 灰星病						
すもも	灰星病						
うめ	黒星病 すす斑病			2回以内			
あんず	灰星病	収穫21日前まで					
ブルーベリー	灰色かび病	収穫14日前まで	1回				
ぶどう	黒とう病 うどんこ病 灰色かび病 褐斑病	8000	収穫30日前まで	3回以内			
	茶	炭疽病 褐色円星病	200~400 ℓ	摘採7日前まで	2回以内		
		もち病 網もち病	5000	200~300 ℓ	発病初期	5回以内	
りんどう	花腐菌核病 葉枯病						

上手な使い方

<りんご>

○モニリア病に対し、潜伏感染期での治療効果と予防効果を有します。芽出し以降の慣行殺菌剤との体系使用で開花直前に散布する事により、モニリア病による花腐れや実腐れを抑制します。

○開花期前後処理で黒星病、赤星病、すす点病、すす斑病の同時防除ができます。

<なし>

○黒星病の果実感染防止効果に優れています。開花前後、果実肥大期が防除適期です。

<もも・すもも・ネクタリン・おうとう・あんず>

○灰星病の果実感染防止効果に優れています。果実の汚れも少なく、収穫前日まで使うことができます。(あんずは収穫21日前まで)

<うめ>

○収穫前日まで使用でき、汚れも残りませんので、発病状況に合わせて黒星病、すす斑病の防除ができます。

<茶>

○炭疽病に高い治療効果を示します。三番茶を摘採しない園では三番茶生育期、三番茶を摘採する園では秋芽生育期の2～3葉期が防除適期です。



使用上の注意

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際してはよく振ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。散布器具及び容器の洗淨水などは、河川などに流さないでください。また、空容器などは環境に影響を与えないよう適切に処理してください。



安全使用上の注意



- 本剤は目に対して弱い刺激性があるので目に入らないよう注意してください。目に入った場合には直ちに水洗いしてください。
- 万一誤って飲み込んだ場合は、吐き出させ、安静にして直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、安静にして直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布の際は、保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

保管…直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。